



# 町長の行政報告を お知らせします

八峰町3月定例議会が2日から12日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、平成22年度予算の審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

## 8年ぶりに無火災を達成 交通事故ゼロも千日達成

昨年は一年間町内での火災がなかったことから平成13年の旧八森町以来8年ぶりに「無火災」を達成しました。

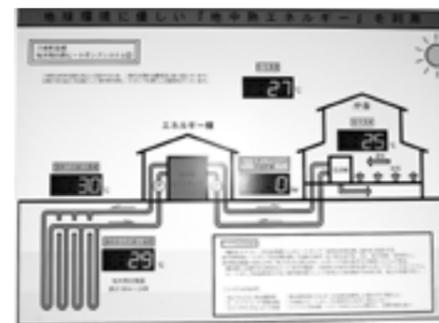
また、今年の2月1日での町内での交通事故ゼロが千日となりました。

無火災も、そして、交通事故防止についても、今後も積極的な啓発活動等を展開してそれぞれの記録更新に努めます。

## 「木質バイオマスの活用及びBDFシステムの検討に係る調査報告書」が完成

新エネルギー・重点ビジョン策定事業については、昨年8月25日から今年2月8日まで5回にわたり庁内委員会及び策定委員会を開催し、「木質バイオマスの活用及びBDFシステムの検討に係る調査・報告書」として取りまとめを終了し、間もなく報告する予定です。

当町では、平成19年度に新エネルギー導入促進の指針となる新エネルギービジョンを策定し、新庁舎への



地中熱ヒートポンプ導入のように実施に移したものではありません。

また、新年度においては新エネルギーの導入と普及啓発を図るため、公共施設に太陽光発電設備とペレットストーブを設置することとしています。

今回の重点ビジョンでは、木質バイオマスのエネルギー利用と廃食油のBDF化に焦点を絞り、事業導入に必要な資源量調査や採算性、材料の調達システム、製造システムなど多岐にわたり調査・検討したところです。

長期にわたる木材産業の低迷に加え、林業従事者の高齢化や後継者不足によって生産現場の活力が衰退するなど、林業を取り巻く厳

## 平成22年度も引き続き 雇用対策関連事業を充実

長引く景気の悪化を背景に、企業倒産や操業縮小などが増え、雇用環境も一段と厳しい状況にある中、本町では、県の基金を活用した「ふるさと雇用再生臨時対策基金事業」、「緊急雇用創出臨時対策基金事業」及び町単独事業の「雇用創出活動支援事業」を実施するなど、積極的に雇用対策施策を展開しており、ふるさと雇用再生臨時対策基金事業では、新規雇用者数11人、緊急雇用創出臨時対策基金事業では、新規雇用者数27人、雇用創出活動支援事業では、新規雇用者数37人と大きな成果を上げています。

長期化する厳しい雇用環境の現状に鑑み、今後とも、雇用対策関連事業の充実を図りたいと考えています。

## 八峰白神塩もろみ 試食会を開催

去る1月12日、文化交流施設ファガスにおいて、町内外の食品加工業者やマスコミ関係者等を招き、価格発表会が行なわれました。



会場では、素材によって異なる使用法を示したレシピや試作品が用意され、出席者からは様々な質問が出されました。

また、2月25日には白神カルチャールームの協力により、食品関連事業者や一般町民を対象とした試食会を開催しました。当日はカルチャールーム池田所長が用意したハタハタ寿司やイカ肝の塩もろみ漬けなど10種類ほどの試作品についての詳細な説明があり、新たな特産品開発につながる貴重な情報交換の場となりました。

八峰白神塩もろみによる加工品は、無添加・低アルコール・低塩で、素材の風味が生きており、賞味期限が長いなど無限の可能性を秘めておりますので、塩もろみが多くの皆様を活用され、白神ブランドの輪が広がるよう、今後も支援したいと考えています。

## 新型インフルエンザ 早めのワクチン接種を

新型インフルエンザの発生動向は全体的に昨年11月をピークとして減少してきています。町内でも2月には公共施設での集団発生の報告もなく小康状態となっていました。3月に入り水沢小学校で再度発生し学級閉鎖となるなど、まだまだ安心できないものとなっています。

ワクチン接種については、2月10日から接種対象者が優先接種対象者に加え「19歳から64歳の健康成人」にも拡大されたことから、対象となられる方の世帯へ接種助成券を発送しています。1月末現在で、全町民の約21パーセントにあたる1,829名の方が接種を受けております。

現在はワクチンの供給量が十分なことから、ワクチン

## 水田農業推進協議会 事務局が町へ

新需給調整システムの実施に伴い、19年度から水田農業推進協議会の事務局を町からJA秋田やまもとに移行し、生産調整業務を行ってきたところですが、民主党を主体とする新政権が実施する戸別所得補償制度の中で農業団体の果たす役割が見えてこないため、新年度から事務局を町に戻すと農協から申し出がありました。

県内25市町村で水田協会の事務局を農協で持つているのは、現在、本町と三種町、能代市、北秋田市の4市町です。4月中に開催される水田協会の通常総会で決定されますが、戸別所得補償制度等の円滑な実施が図られ、町内の農家に不利益を生じないよう、町の生産調整事務の推進体制の整備を図らなければならないと考えています。

## ポンポコ山公園 23年度完成を目指す



ポンポコ山公園整備事業ですが、3ヶ年計画の初年度として、現在、観光振興基金を財源に、他抜き殿、西海岸ハーブ園休憩所等の解体工事や池の埋立て、展望台の改修などを行なっており、3月末までには、一部の遊具についても設置する予定です。

新年度においては、ふるさと交流センターの解体、センター広場の造成、管理棟の建設、遊具等の設置を予定しており、平成23年度中の完成を目指しています。町の観光拠点の一つとして、また地域住民の憩いの場として多くの人々が気軽に訪れる公園にリニューアルしたいと考えています。

## 埴地区下水道 一部を除き供用を開始

今年度、横内地区内に建設中の排水処理施設はほぼ完成し、現在、機械電気設備等の試験調整を行っております。今後のスケジュールでは、町の完成検査と県の補助金検査を3月中旬に実施し、施設の供用開始を3月30日に設定して準備を進めています。

本事業は、大信田地区の一部の管路布設と処理場の場内整備工事を残すのみとなり、計画より1年早く平成22年度内には、事業が完了します。

